

(1)地域医療構想

①県南東部地域の状況

1

地域医療構想

【目的】 人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、
医療機関の機能分化・連携を進め、
良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供できる体制を
確保する。

※ 病床の削減や統廃合ありきではない。

【医療機関に求められること】

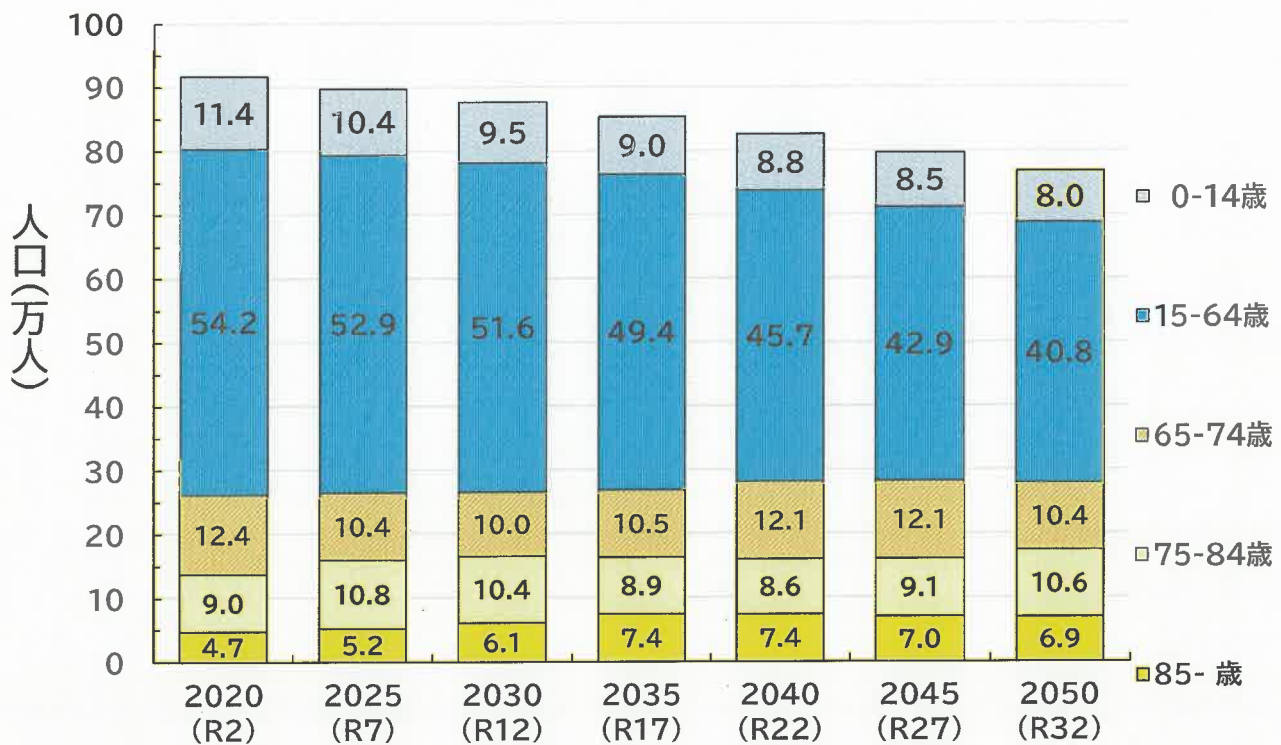
- ・ 「地域医療構想調整会議」での協議を踏まえながら、自主的に医療機関の機能分化や連携に取り組む。

【県に求められること】

- ・ 「地域医療構想調整会議」を設置し、医療機関相互の協議により、地域の実情を踏まえ、機能分化・連携を進めていく仕組みを設ける。
- ・ 病床機能報告等の情報を活用して、個別の医療機関の医療機能や診療実績を提示し、地域において不足する医療機能や、各医療機関の役割を明確化して議論を進める。
- ・ 地域医療介護総合確保基金や重点支援区域制度・再編検討区域制度を活用し、医療機関の機能分化・連携を推進する。

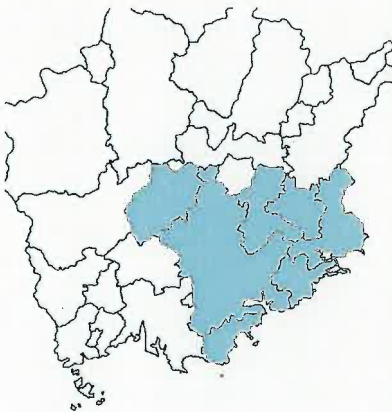
2

人口推計(県南東部圏域、単位:万人)



3

県南東部保健医療圏の概要



○特定機能病院及び地域医療支援病院の所在地

所在地	特定機能病院	地域医療支援病院
岡山県	2	13
県南東部保健医療圏	1	11
県南西部保健医療圏	1	1
梁・新見保健医療圏	-	-
真庭保健医療圏	-	-
津山・英田保健医療圏	-	1

○特定機能病院及び地域医療総合病院一覧(圏域内)

病院名	
特定機能病院	岡山大学病院
地域医療支援病院	岡山中央病院
	岡山医療センター
	心臓病センター榊原病院
	岡山旭東病院
	岡山済生会総合病院
	川崎医科大学附属総合医療センター
	赤磐医師会病院
	岡山労災病院
	岡山赤十字病院
	岡山済生会総合病院
	岡山市立市民病院

- ・圏域人口は約89万4千人、県人口約183万人のほぼ半分である(R6.10現在)。
- ・特定機能病院、地域医療支援病院の多くが圏域内にある。

4

県南東部 地域医療構想調整会議の取組

調整会議の主な議題・取組等	
平成27年度	県南東部地域医療構想調整会議の設置
平成29～ 平成30年度	・「公的医療機関等2025プラン」の協議 ・「第8次岡山県保健医療計画(県南東部圏域)」の地域医療構想に関する協議 ・「公立病院改革プラン」に関する協議
平成31年度	・「岡山県外来医療に係る医療提供体制計画」に関する協議
令和2～ 令和3年度	・重点支援区域の申請 - 再編統合医療機関(総合病院玉野市立玉野市民病院、玉野三井病院)
令和4年度	・各医療機関からの対応方針等を協議 ・公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証(令和5年度まで)
令和5年度	・公立病院経営強化プランに関する協議 ・定量的評価基準を用いた病床機能調査を実施 ・岡山県データ分析事業の実施 ・紹介受診重点医療機関の確認(11病院)
令和6年度	・紹介受診重点医療機関の確認(12病院・追加1病院) ・圏域の将来人口推計及び入院患者等の将来推計資料提供

○ 医療機関の機能分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供できる体制づくりを促進する。

- ・病床機能報告で報告された病床数などの情報提供を行う。
- ・各医療機関の対応方針や計画の策定、医療機関としての役割や機能を変更する場合に調整会議で協議するなど、病床の機能分化・連携を促進する。

5

各医療機関の具体的対応

「地域医療構想の進め方について」(令和4年3月24日付け、医政発 0324第6号)を受け、

- ・民間医療機関も含めた各医療機関が具体的対応方針(病院の役割や機能、病床数など)を策定し、検証や見直しを実施してきた。
- ・公立病院は「公立病院経営強化プラン」を策定し、地域医療構想調整会議においてプランの内容を協議した。

○すべての病院・有床診療所が具体的対応方針を策定し、調整会議で合意済。

○公立病院は「公立病院経営強化プラン」を策定し、令和5年度第3回調整会議で合意済。公的医療機関等2025プランの内容に変更のある病院、病床の転換がある病院についても、適宜、調整会議において合意していく。

6

県南東部保健医療圏の特徴

病院の推計入院患者数(患者の住所地別) 令和5年

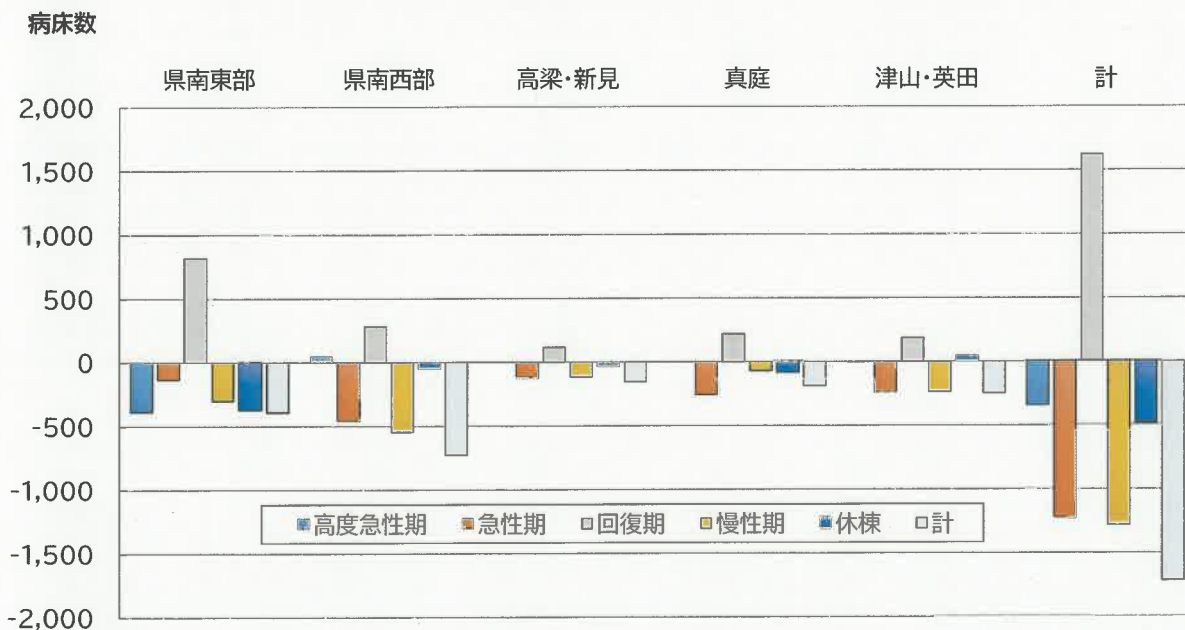
			入院患者の住所地								
			全国	岡山県					県外	不詳	
				県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田			
病院の所在地（圏域）	人数（千人）	岡山県	19.4	18.5	8.1	7.1	0.8	0.6	1.9	0.9	0.1
		県南東部	9.2	8.6	7.6	0.6	0.1	0.1	0.2	0.6	0.1
		県南西部	7.4	7.1	0.4	6.4	0.1	0	0	0.3	-
		高梁・新見	0.6	0.6	0	0	0.5	0	0	0	0
		真庭	0.4	0.4	-	-	0	0.4	0	0	-
		津山・英田	1.7	1.7	0	-	0	0.1	1.6	0	0
	割合（％）	岡山県	100.0%	95.4%	41.8%	36.6%	4.1%	3.1%	9.8%	4.6%	0.5%
		県南東部	100.0%	93.5%	82.6%	6.5%	1.1%	1.1%	2.2%	6.5%	1.1%
		県南西部	100.0%	95.9%	5.4%	86.5%	1.4%	0.0%	0.0%	4.1%	-
		高梁・新見	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		真庭	100.0%	100.0%	-	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
		津山・英田	100.0%	100.0%	0.0%	-	0.0%	5.9%	94.1%	0.0%	0.0%

- ・令和5年患者調査(厚生労働省)、二次医療圏編 第4表のデータをもとに作表した。
- ・データが100人単位で公表されているため、高梁・新見圏域のように総計が一致しない部分がある。
- ・該当者のいない項目は「-」にて表示した。

- ・入院患者のうち他圏域の居住者が2割弱である(県外は6.5%)。
- ⇒ 圏域内に居住する人口以外も考慮する必要があるのではないか。

7

二次医療圏ごとの許可病床数の変化(H29.4.1~R6.7.1)

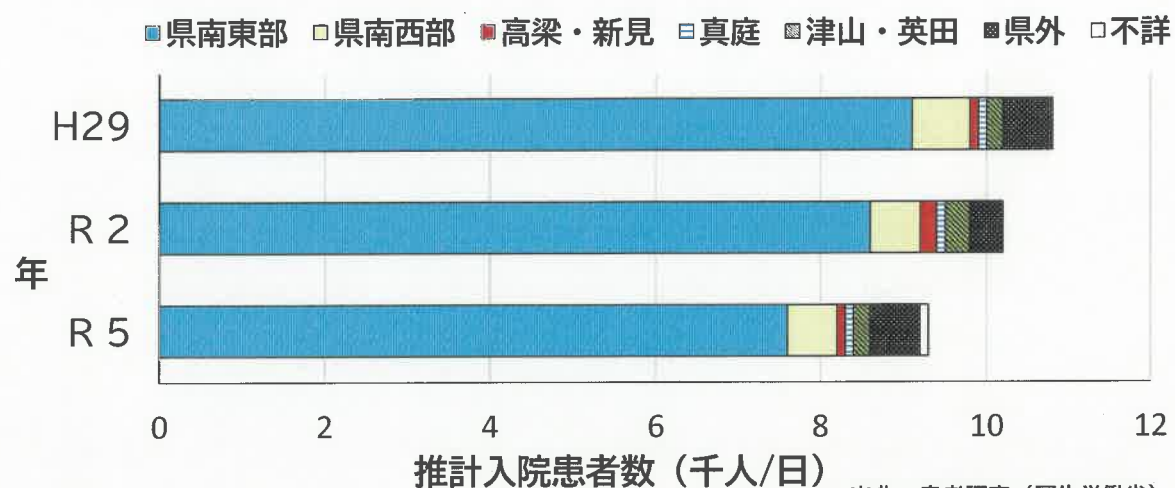


平成29年から令和6年までの7年間で、
許可病床数は、全県で1,715床減少し、県南東部圏域では398床減少した。

圏域の増減: 高度急性期(392床減)、急性期(139床減)、回復期(819床増)
慢性期(308床減)、休棟(378床減)

8

県南東部圏域の病院における 1日あたり推計入院患者数(患者住所地別)



- ・ 令和5年の1日あたり推計入院患者数は、9千2百人であった。
(平成29年の1日あたり推計患者数は1万8百人であったので、その約85%)
- ・ 県南東部圏域で入院する患者のうち、圏域外に住所地のある患者は約2割であった。